



馬場清掃



試合



飲料協賛 (株伊藤園)



雑太社に参拝



紫竹RC疋田会長挨拶



洛北高校ラグビー部紹介



坂田好弘会長挨拶

特集

第4回下鴨神社杯 タグラグビー大会 〜第一蹴の地でラグビーを〜 実施報告

世界遺産下鴨神社
ラグビー第一蹴の地顕彰会 会報

第一蹴の地

no.03

- 主催… 世界遺産下鴨神社ラグビー第一蹴の地顕彰会
- 共催… 賀茂御祖神社(下鴨神社) / 京都紫竹ロータリークラブ
- 協力… 関西ラグビーフットボール協会
- 後援… 京都新聞 / KBS京都 / NHK京都放送局
- 協賛… (株伊藤園)
- 日時… 令和2年10月18日(日)午前9時〜午前11時半
- 会場… 賀茂御祖神社社の森馬場
- 参加者… 選手53名(下鴨小学校、下鴨中学校、洛北高等学校、下鴨神社スカウト) スタッフ他20名 計73名

第4回目となった本大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下鴨周辺地域の小中高生のみに参加者を限定し、感染症拡大防止対策をして例年より縮小して開催しました。近隣の小学生をはじめラグビーを愛する人々が参集し、また下鴨中学校、洛北高校のラグビー部員らが積極的に子供たちの指導や運営の助勢などを行い、普段交わることの少ない縦の年代の交流があるなど、有意義な大会となりました。開会式では、まず神社の神職からはお祓いをうけ、ラグビーの神さまである雑太社に全員で参拝しました。坂田好弘会長並びに紫竹ロータリークラブ疋田会長の挨拶の後、世界遺産である糺の森や雑太社周辺の清掃活動を全員で行いました。そして会場に設けられた三面のコート内を木漏れ日を受けながら、子供たちは思う存分に走りまわり、ラグビーを楽しむことができました。

新型感染症禍においても「ラグビーを通じて日本の伝統文化に触れる機会を提供し、神社、鎮守の森における青少年活動を推進する」という目的にかなった大会を継続して開催できたことは、関係者の願いが結実したものと思っています。将来、大会に参加した子供たちが、フェアプレー、ノーサイド、ワンフォールオールフォローワンといったラグビーの精神を培い、世界遺産の神社で実施できたことにより、日本が世界に誇る文化や文化財の保存と継承の担い手となることを期待するものでもあります。全ては110年前の先人の一蹴りからはじまりました。この先の100年も見据えて、この取組を続けていくことに価値があると確信しています。末筆ながら、本大会にご協賛戴きました京都紫竹ロータリークラブ様、(株伊藤園様をはじめ、ご協力戴いた全ての方々に感謝申し上げます。



区分	件数	元年度新入会
個人会員	1,598名	224名
法人会員	9件	2件
名誉会員	72件	8件
合計	1,679件	234件

○特別会員数(令和2年6月30日現在)

- 1 一般財団法人化について
特別会員の更なる拡大と、次期遷宮の奉賛活動の為、法人化に向け準備を進めました。
- 2 九州本部設立について
中四国本部設立に続き、九州本部を設立しました。令和元年8月9日福岡県(ソラリア西鉄ホテル福岡)で設立記念フォーラム「ラグビーワールドカップ2019とラグビー神社(京都・下鴨神社)」(登壇者:森喜朗元首相、森重隆日本ラグビー協会会長、女優竹下景子氏、新木宮司ほか)を開催しました。
- 3 えと祈願祭及び崇敬会会員大会
令和元年10月20日斎行。神賑行事として江文神社(京都市左京区)の神楽・声優の野沢雅子氏による朗読・出雲神楽・箏曲・盆踊り・福籤・模擬店等の催しを実施しました。また、表参道で手作り市、馬場では第3回タグラグビー大会を開催しました。
- 4 会員について
名月管絃祭の拝観席招待、社報「みかげ」の配布、日供祭(誕生祭)祈禱及び昇殿参拝の実施等、特別会員への特典充実をはかりました。

世界遺産下鴨神社崇敬会 令和元年度事業報告 令和元年7月1日より令和2年6月30日まで



閉会式



アフターマッチファンクション

○役員の就任

氏子評議員 山本 実氏 令和元年12月10日
関東本部評議員 加藤 秀明氏 令和2年1月12日
(㈱アスカ代表取締役会長)

世界遺産下鴨神社崇敬会 令和2年度事業計画 令和2年7月1日より令和3年6月30日まで

- 1 一般財団法人化について
令和元年度より進めている崇敬会の一般財団法人化についての取り組みを継続し、一般財団法人への移行(設立)を目指す。
- 2 えと祈願祭及び崇敬会会員大会
・ 会員大会/崇敬者大祭えと祈願祭 10月18日(日)。
・ 神賑行事/福籤/模擬店/手作り市/タグラグビー大会/などの実施。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止に鑑み会員大会は本年中止となりました。えと祈願祭については縮小して斎行されました。
- 3 会員について
・ 会員の誕生日に日供祭(誕生祭)祈禱及び昇殿参拝の実施。
・ 社報「みかげ」の配布(年3回)。
・ 名月管絃祭の拝観席招待。
・ 鴨社資料館無料拝観。
・ 札の森カード(会員証)の発行など。

札の森カード(会員証)



集合写真

【収入】		
科目	金額	
会費収入	特別会員会費収入	4,500,000
	名誉会員会費収入	1,800,000
事業収入	事業収入	2,000,000
寄付金収入	寄付金収入	100,000
収入計		8,400,000

【支出】		
科目	金額	
事業費	催事事業費	1,000,000
	普及広報費	500,000
	印刷費	1,400,000
	奉納品費	0
	通信案内費	800,000
	雑費	100,000
管理費	管理費	600,000
特別事業積立金		4,000,000
支出計		8,400,000

世界遺産下鴨神社崇敬会 令和2年度 予算書(単位:円)

【収入】		
科目	金額	
会費収入	特別会員会費収入	4,059,000
	名誉会員会費収入	2,400,000
事業収入	事業収入	2,266,698
寄付金収入	寄付金収入	396,200
収入計		9,121,898

【支出】		
科目	金額	
事業費	催事事業費	6,269,857
	普及広報費	0
	印刷費	1,144,815
	奉納品費	1,030,598
	通信案内費	699,402
	雑費	0
管理費	管理費	108,297
特別事業積立金		0
支出計		9,252,969

世界遺産下鴨神社崇敬会 令和元年度 決算報告書(単位:円)



ラグビー神社ニュース
昨年ラグビーワールドカップ2019大会を開催中、東京丸の内ビルディングに建てられた「丸の内ラグビー神社」。ラグビーとゆかりの深い京都「下鴨神社」境内の「雑太社」の祭神をまつり、下鴨神社神職による必勝祈願祭など、W杯期間中は国内外から大勢のファンが参拝しました。大会終了後、神社をどうするか決まっています。大会終了後、岩手県釜石市の有志が名乗りを上げ、神社を建てた三菱地所(千代田区)が無償譲渡を快諾。社殿は釜石市鶴住居町の釜石鶴住居復興スタジアム隣接地に移設され「釜石ラグビー神社」として9月26日に創建されました。
昨年のラグビーワールドカップ(W杯)のレガシー(遺産)を継承する新たな名所となりました。